



# 公共健康医学

## School of Public Health

### 社会予防疫学 *Social and Preventive Epidemiology*

生活習慣病の予防に関する疫学研究を行なっています。特に、栄養（食事）が疾病予防に果たす役割を疫学的に検証する学問である『栄養疫学』を研究の主軸にしているまれな研究室です。

- 食事調査の方法論に関する研究
- 栄養素摂取量・食行動と健康状態との関連に関する疫学研究
- 栄養改善活動手法の開発とその効果検証に関する研究
- 「栄養（食事）と健康の疫学研究」に関する文献データベースの確立
- 栄養が関連する疾患の臨床研究グループとの共同研究

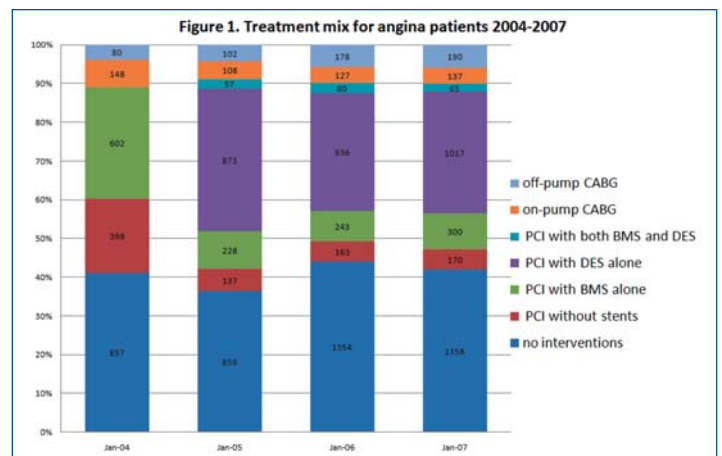


### 臨床疫学・経済学 *Health Economics and Epidemiology Research*

疫学と経済学を有機的に結合し、医療・保健・公衆衛生の諸活動を定量的に評価し、理論と科学的根拠に基づいた実践家を養成することを志向する。また、実証的評価研究を通じて、エビデンスを社会発信する。

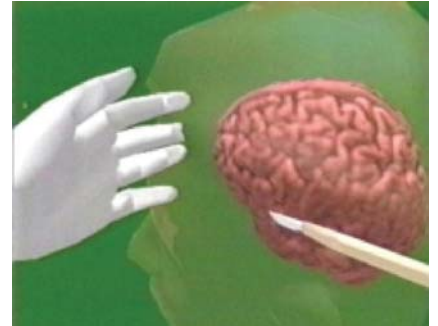
- 医療技術の経済評価
- 患者 QOL と臨床評価
- 医療行為の標準化と質管理
- 医療制度の実証的分析
- 社会経済政策と健康影響の評価

薬剤溶出ステントの保険承認前後における冠動脈疾患治療の変化  
(平成 20 年度厚生労働科学研究より)



臨床情報工学とは、医学・医療で行われている情報処理（収集・解析・公開）へのコンピュータ科学技術の応用に関する教育・研究を担う医療科学分野の1つである。当教室ではその中でも「意思決定支援へのコンピュータ科学技術の応用」を中心テーマとし、特に、がん診療や研究へのデータマイニング、知識処理、可視化技術の応用や地域医療における情報基盤整備に関する研究・教育を工学系研究者を含め国内外の多彩な分野の研究者と協力して行い、社会への貢献を目指している。

- 医学における意思決定
- がん医療・研究における情報処理
- データマイニング・データベースからの知識発見
- ヴァーチャルリアリティ技術の医学応用
- 地域医療における情報基盤整備に関する研究



意思決定への人工現実空間の応用